板橋区立赤塚第二中学校　学校だより　＜第５号＞

教育目標「立志・鍛錬・協調」

芙　蓉

令和５年９月　４日
校長　木村　知広
〒175-0094
板橋区成増 3-18-1
TEL (3939)0247

２学期スタートにあたり

校長　木村　知広

９月１日から２学期の教育活動が始まりました。皆さんが元気に登校する姿を見て安心しましたが、学期が始まるにあたり、不安なことや気になることがありましたら、担任の先生や学年の先生に遠慮なく相談して、よいスタートをきりましょう。

また、２学期は、９年生にとって「進路決定に向けての準備を完了させる学期」、８年生にとって「学校の中心として自覚をもって活躍する学期」、７年生にとって「学びを生かしてチャレンジする学期」となります。さらに、学年・クラスの仲間とともに作り上げる学校行事も控えています。ぜひ、夏季休業で努力したこと、頑張ったこと、学んだこと、考えたこと等の経験を生かすとともに、下記の『**全校生徒の皆さんに大切にしてほしいこと**』を改めて心にとめながら、理想とする自分の姿の実現に向けて、そして学年・クラスという集団の成長に向けて、みんなで協力しながら素晴らしい２学期をつくっていきましょう。皆さんの頑張りを期待しています。

令和5年度が始まるにあたり、全校生徒の皆さんに大切にしてほしいこと（学校だより第１号より）
①理想の自分の姿をしっかり見据えた上で、その実現に向けて自ら学び・考え・判断し・行動すること
②理想とする自分の姿に近づけたかどうかを常に振り返り、自分の弱さを克服しながら、ねばり強く挑戦しつづけること
③一人一人の個性などの違いを認める心と温かい思いやりの心をもって人と接すること
④自分を支えてくれるすべての人々に感謝の心をもって、日々生活すること

さて本日は、上の『**全校生徒の皆さんに大切にしてほしいこと**』に示した、『**感謝の心**』について改めて考えたいと思います。

『**感謝の心**』は、他の人から思いやりのある行為を受けたときに、それを有り難いと素直に感じる心の在り方です。私たちは、互いに助け合い、協力し合って生きているので、「**思いやりの心**」とともに、より良い人間関係を築く上でも欠かすことのできない大切な心です。しかし、その思いやりのある行為というのは、転んだときに手を差し伸べてくれるなどの直接的なものであれば容易に気がつくことができますが、あなたの重荷にならないようにという配慮がなされた行為は気がつくことが難しいかもしれません。

例えば、高校野球の夏の大会で代打を告げられた際に、審判がホームベースを丁寧に掃除したり、進行をわざとゆっくりさせることがあります。この行為は、選手名のアナウンスやスコアボードへの掲示がしっかり行われるように時間を稼いでいるとのことです。これは３年間必死に頑張ってきた選手本人はもちろんのこと、その保護者やご家族にとっては、一生で最後の出場機会を目にするかもしれないことから、じっくりその勇姿を見て欲しいという配慮だそうです。

このような直接的な思いやりのある行為ではなく、配慮がなされた行為に気がつくことは難しいかもしれませんが、心のアンテナを高くして、配慮がなされた「**思いやりの心**」を少しでも気づけるような人になりたいものです。（赤二中がなぜいつまでも綺麗な校舎でいられるのかなど、心のアンテナを高くして考えてみてください。）

そして、これらの「**思いやりの心**」や行為に触れたときに、『**感謝の心**』をもって行動することが、結果として他者との絆をより強くすることにつながります。具体的には、「**ありがとうございます**」と素直に感謝の気持ちを表すことや、日々支えてくれていることへの感謝の気持ちを込めて明るく・笑顔で「**挨拶**」をすることを大切にして欲しいと思います。

さらに、「**お陰様で〇〇です**」や「**いただきます**」という言葉があるように、『**感謝の心**』の対象を、他者との関わりだけではなく、より多くの社会の人々への感謝、さらには自然の恵みへの感謝へと次第に広げて欲しいと願っています。

全国学力学習状況調査結果

令和５年４月１８日に９学年生徒を対象に、国語・数学・英語の学力調査と学習状況調査を実施しました。本校の調査結果は下記のとおりとなりました。

	国語（正答率%）	数学（正答率%）	英語（正答率%）
赤塚第二中学校	**７３**	**５２**	**５４**
東京都（公立）	７２	５４	５２
全国（公立）	６９．８	５１．０	４５．６

本校の平均正答率を全国（公立）と比較すると、全ての教科で上回り、東京都（公立）の平均正答率と比較すると、国語では１ポイント、英語では２ポイント上回る結果となりました。日頃の授業では、前向きな姿勢で一生懸命努力する姿を見ていますので、その学習態度が結果に表れてきていると考えています。また、結果をさらに分析すると、どの教科も『思考・判断・表現』の問題を苦手にしていることが分かりました。現在クロームブックを活用して自ら考え・判断し・表現する学習活動の充実を図ってきておりますので、さらに生徒が主体的に学習に取り組む活動や学びの成果を語る機会の充実を図るなどの授業革新をさらに進め、更なる学力向上を図って参ります。

一方、質問紙調査からは、下記のとおり、本校生徒の特徴や教育活動の成果が表れました。

設問	学校に行くのは楽しいと思いますか(%)		将来の夢や目標をもっていますか(%)		自分にはよいところがあると思いますか(%)	
赤塚第二中学校	47.8	40.7	47.8	23.1	54.4	28.0
	88.5		70.9		82.4	
東京都（公立）	42.9	38.7	37.9	26.4	39.4	40.7
	８１．６		６４．３		７８．５	
全国（公立）	43.3	38.5	39.4	26.9	37.2	42.8
	８１．８		６６．３		７８．５	

※上段左:当てはまる割合／上段右:どちらかといえば、当てはまる割合／下段:肯定的な割合(上段の合計)

９年生の多くが、「学校へ行くのは楽しい」「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがあると思う」と感じていることは、大変嬉しいことですし、「安心・安全」「集団美」の理念のもと、**『理想の自分の姿を見据えること』『自ら学び・考え・判断し・行動すること』『ねばり強く挑戦すること』『思いやりの心と感謝の心をもつこと』**を大切にしてきた成果が結びついていると実感しております。特に、「自分にはよいところがあると思いますか」に当てはまると回答した生徒が54.4%もいるということは、年度当初の保護者会でお願いしたとおり、教職員・保護者を含めた大人が生徒の努力や頑張りをより積極的に「認め・褒め・励ます」ことができた成果であると考えております。学力と自己肯定感には一定の相関関係があると言われておりますので、今後もお子様の頑張りをより積極的に「認め・褒め・励まして」いただきますよう、お願いいたします。

学校行事

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事の様子を公開しています。下の QR コードもしくは URL(https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog)からご確認ください。

リトルティーチャー

演劇部上映会

道徳科授業づくり研修会

赤二中日記

生徒の活躍

板橋区少年野球親善大会中学生の部　第３位

第 63 回東京都中学校吹奏楽コンクール　Ｂ組　銀賞

第 47 回関東中学校水泳競技大会　男子 1500m 自由形　第１位

全日本ジュニアバドミントン大会板橋区選考会　男子シングルス２部　第３位